

# 平成27年度 福祉一行詩コンクール表彰

※作品は、原文のまま掲載しています。 (敬称略・順不同)

## 特選

おじいちゃん小さな段差が大きな段差

中島 岳人(笠原中学校1年)

人與人 支えているつもりが 支えられ  
最後は感謝の心であふれる

三宅 冬樹(一般)

## 小学生の部

### 入選

手話で「わたなべ あかり」を習ったよ。  
今度、どこかで、自己しょう介したいな。

渡邊 あかり(養正小学校4年)

ひいおばあちゃんの顔を見に施設に行くど、  
介護士さんはいつも笑顔。だからおばあちゃんも笑顔かな。

霜出 青良(根本小学校5年)

目の見えない人、耳の聞こえない人、生まれつき病気の人。  
いろんな人がいるけれど、みんな同じ人間だ。

森 一晟(北栄小学校6年)

街の中、白杖持った方がいた。  
困っていたら「何かお困りですか」と声をかけてみる。

朝日 恭子(滝呂小学校6年)

### 佳作

喜んでほしくてがんばる敬老会。  
静かな顔がほほえみだした。

仲根 葵(共栄小学校6年)

満員電車で目の前におばあさんがいた。  
急に電車が止まったときおばあさんに  
手をさしだした。「ありがとう。」

吉田 悠汰(滝呂小学校6年)

座りたかった。  
でもいつのまにかゆずってた。

富田 鉄平(北栄小学校6年)

白じょう持つてる不自由な人がいた。  
いつもは、言えない言葉。  
勇気を出して、助けてあげられた。

佐藤 心咲(北栄小学校6年)

席をゆずる人がいる。ゆずらない人もいる。  
はくはゆずる方がいい。

岩田 紳之助(北栄小学校6年)

電車でもいつもは言えないけど、  
今日は言えた。「ごどうぞ。」  
そのとたんに明るい笑顔。

阪口 真有(北栄小学校6年)

## 中学生の部

### 入選

募金箱、お金ともう一つ入れるものがある  
それは願い。

後藤 颯大(南ヶ丘中学校1年)

点字ブロック、自転車じゃまだな、よしどかそう。

滝澤 秀多(笠原中学校1年)

道にまよったおじいさん、見ているわけにはいかないよ。  
おもわずが一步出た。

平岩 鴻之介(小泉中学校1年)

福祉センター、おばあちゃんと一緒に昔遊び。  
どんどん咲いてく、笑顔の花。

水野 空(笠原中学校2年)

### 佳作

初めてお母さんの職場に行って、  
おばあちゃんやおじいちゃんと接していた  
あの姿を私はほこりに思う。

藤本 唯央奈(笠原中学校1年)

歩けなかったおばあちゃん。  
立ち上がる時はたよってね。  
今日から私がおばあちゃんを支えていこうから。

田口 珠琴(笠原中学校1年)

ボランティア心をつなぐ町づくり。  
よりよい町への第一歩。

鬼塚 楓(小泉中学校1年)

おばあさんに折り紙を折ったら  
楽しんでくれた。  
言葉以外にも通じる方法があると知った。

藤原 颯人(笠原中学校2年)

おつりで返ってきた5円玉。  
そっと募金箱の中、入れてみた。

梶田 怜実(南ヶ丘中学校3年)

病気の祖父にそっと手を差し出す祖母。  
思いやりや絆が姿でみえた。

菊永 桜香(南ヶ丘中学校3年)

## 高校・一般の部

### 入選

「かあさん」と今日もまよいの中にいる、  
黙ってよりそうだけでいいよね、あなた。

田中 春江(一般)

### 佳作

ぬくもり残る電車の座席  
然りげなく譲っていただいた優しさに  
今日はいい日と心に記す

伊佐治 幸枝(一般)